



2021年9月27日  
カイゲンファーマ株式会社

**海食物繊維アルギン酸が腸内細菌を介して  
メタボリック・シンドロームを抑制することを発見  
ー腸内環境健全化による予防への展開に期待ー**

カイゲンファーマ株式会社(本社:大阪市中央区、社長:中桐信夫、以下カイゲンファーマ)は、慶應義塾大学薬学部との共同研究により、海藻に含まれる食物繊維アルギン酸ナトリウムが腸内細菌を介してメタボリック・シンドロームを抑制することを明らかにしました。

これまでアルギン酸ナトリウムのメタボリック・シンドロームへの効果については、食物中の脂質を吸着し、体内へ吸収されにくくするなどの物理的作用が考えられていました。本研究成果により、アルギン酸ナトリウムが腸内細菌叢の組成や代謝物を変化させることにより腸管内の炎症を抑え、メタボリック・シンドロームを抑制することが新たに分かりました。

本研究成果は、2021年8月16日に国際学術誌『Nutrients』(電子版)に掲載されました。

カイゲンファーマは、未病・予防医学に基づいたより良い製品やサービスを開発し、提供することで、人々が健康に長く暮らせる社会の創造に貢献します。

**【関連するプレスリリース】**

<https://www.keio.ac.jp/ja/press-releases/2021/9/27/28-82668/index.html>

**【このプレスリリースに関するお問い合わせ】**

カイゲンファーマ株式会社      koho@kaigen-pharma.co.jp